

令和4年2月28日

保護者(1,2年生)様

大分大学教育学部附属中学校

校長 御手洗 宏昭

制服検討の方向に係るアンケートについて

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、「第1回制服検討委員会の報告について」令和4年2月15日付(裏面に写をつけています)で、「四校園の制服についての方針」、「及び各校園の制服についての方針」をお知らせしました。

これを受けまして、附属中学校の具体的な方針を下記の通りお示いたします。これにつきまして、保護者の皆さまからご意見をいただき、今後の方向性を固めていきたいと考えております。

なお、アンケートにつきましては「さくらメール」でご回答いただけるよう、本日の夕刻に送信いたします。

また、生徒の意見については別途学校の方で集約していきますので、今回のアンケートにつきましては保護者の皆様のお考えをお答えください。

お忙しい中、お手数をおかけしますがご協力を賜りますようお願いいたします。

記

○ 現在は、男子は学生服、女子はセーラー服の着用を基本としながら、どちらを着用するかは選択制としていますが、生徒の多様性に対応し選択の幅を広げるために、次の【1案】と【2案】を考えています。

【1案】セーラー服について、現行[上:セーラー, 下:スカート(キュロットタイプを含む)]に加え、[上:セーラー, 下:パンツに対応できる]パンツを導入する。

【2案】新たにブレザータイプ(上:ブレザー, 下:パンツ or スカートの選択)の制服を加える。

※キュロットタイプはプリーツもついており、見た目は現行のスカートと同じものを2月より採用しています。

※【1案】については、上:セーラー, 下:パンツの組み合わせに違和感があることが懸念されますが、他県では導入されている例もあり、少しのデザインの修正で対応可能と考えています。

【2案】については、学生服が黒、セーラー服が紺であるため同一色での制作が難しいこと、及び、制服が3種類(学生服・セーラー・ブレザー)となるため業者の対応の負担も大きくなり、価格の面に影響が出る恐れがあることが懸念されます。

以上の事から、現在のところ、本校といたしましては1案での検討を考えています。

○ 以下を「さくらメール」にて3/6までにご回答ください。

[設問1]「第1回四校園制服検討委員会の報告について」で報告した【四校園の制服についての方針】については、どのようにお考えですか。 回答 賛成・反対・どちらでもない (回答の理由)

[設問2]上記でお伝えしました【1案】と【2案】については、どのようにお考えですか。

回答 1案を支持する・2案を支持する・その他 (回答の理由)

[設問3]その他、ご意見等がありましたらお知らせください。

回答 自由記述で

連絡先
大分大学教育学部附属中学校
教頭 本田(097-543-6731)

附属四校園保護者 様



令和4年2月15日

大分大学教育学部
附属学校園連携統括長 川 寄 道 広
附属幼稚園長 吉永 公一郎
附属小学校長 時松 哲也
附属中学校長 御手洗 宏昭
附属特別支援学校長 後藤 みゆき

第1回四校園制服検討委員会の報告について

立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より附属四校園の教育活動へのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和4年2月4日に第1回四校園制服検討委員会を開催いたしました。会の中で検討しました四校園の制服についての方針を下記の通り報告いたします。

今後、各校園ごと、制服の検討を保護者の皆さまやお子さんのご意見を伺いながら進めてまいります。制服の検討に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

記

【四校園の制服についての方針】

現行の制服には、子どもや保護者、同窓生からの愛着もあり附属四校園としての伝統もある。また、制服を着ることにより附属四校園への所属意識や連帯感が高まり、誇りと自覚、目的意識を持ち、それぞれの学校園生活を送ることができる考える。従って制服の着用については今後も必要であると捉えている。

しかし、時代の変化や価値観、性に対する捉えの多様化に対応するためには、現行の制服の規定を見直していく必要がある。一方、四校園で制服を統一することは合理的ではない。現行の制服には、すでに色合いやデザインの中にある程度の統一性がある。

従って、多様性に配慮し、各校園の課題や実態に対応することを目的とし、多くの関係者から愛され伝統のある現行の制服も含めて、各校園それぞれで幼児・児童・生徒や保護者と一緒に見直しを進めていく。

基本的方針としては、新規に四校園統一した制服を考えるのではなく、各校園の制服についての考えを尊重しつつ、四校園で統一する部分についても検討を進めていく。

【各校園の制服についての方針】

○附幼：令和元年度に男女を分けない同一の制服を採用している。現状を維持していく。

○附小：多様性に配慮した制服を検討していく。6年間を通した半ズボンの着用も含めて見直したい。

○附中：多様性に対応するために、標準服として捉えていく。現行の制服をベースに見直したい。

○附特：附小・附中に合わせるが、キュロットの導入などは検討する。高等部は学校独自に検討していく。

※第2回制服検討委員会は5月末から6月頃を予定している。

事務局
大分大学教育学部附属四校園事務室
専門職員 碓 浩志
TEL 097-543-4945